



# みずほの丘の希望

令和6年9月02日  
第7号  
生徒数/404名  
文責/堀川博基

〒354-0018 富士見市西みずほ台3-14-6 TEL/049-252-4145 FAX/049-255-0233

オリンピックにも負けない戦いが、ここにもあった...



## 酷暑に暑く耐えた夏 五輪に熱く燃えた夏 成長を厚く感じた夏

### 夏の成長を、どう2学期につなげるのか? これから、君たちの五輪がはじまる...

日本はもう温帯ではないのだろうか!? 熱帯と言えいささかオーバーかも知れないが、亜熱帯と言え納得してしまうかも知れない...。毎年そう感じてしまう酷暑だ...。気候だけであれば「暑い暑い夏」であったが...、気持ちを含めて振り返ると「熱い熱い夏」でもあった。

全力で、直向きに、力を尽くしている人間の姿というのは、こんなにも神々しいものか...。どの選手の姿も見ていて自然と涙腺が緩んでくる。人間の本気というものはこちらまで人々を感動させるものなのか? 様々なドラマがあったPARIS2024であった。君たちも見ていたことだろう。自分なりに心しほいた感動シーンを脳裏に刻み込み明日へのエネルギーにしてほしい。

私が一番記憶に残っている選手は...水泳の池江璃花子選手だ。PARIS2024では競泳女子100mバタフライに出場し準決勝には進出したものの12位と敗れた。直後のインタビューで彼女が発した言葉が頭から離れない。「15秒もの無言のち...正直、このまでの努力は何だったんだろう...」。大粒の涙を流しながらの精一杯のコメントであった。池江選手については多くを語る必要はない。2016年16歳でのリオオリンピックでは7種目に出場し100mバタフライでは5位入賞という好成績成績を挙げた。その後の国際大会でも成績は著しく、東京2020では当然のことながら「金」が期待された...。2019年2月、急性リンパ性白血病の診断が下された。その後の過程については私などが易々と語れない...。その後の驚異的な復活においても、その道のりはまさしく地獄のような日々だったのだと思う。東京2020ではリレー3種目に出場、そしてPARIS2024では女子100mバタフライに出場し2大会振りの個人出場となった。確かに池江選手が目標としていた結果にはかけはなれたものだったのかも知れないが...五輪という世界最高峰での戦いで全力を尽くしたのは間違いがない...しかしながら彼女の言葉は「このまでの努力は何だったんだろうと思う、頑張ってきた意味はあったのかなと、そんな気持ちでいっぱい。自分なりに一生懸命やってきたつもりだったが何も変わってなかった。本当にいつまで苦しまなければいけないんだろうと思う」。素直な敗者の弁だと思ふ...いや、水泳に命をかけるほどの想いで取り組んできた真の挑戦者だからこそこの言葉だと思ふ...

この夏、君たちも様々な挑戦をしたのだと思う...。容赦ない宿題だって、学校よりきつい塾だって、日々ハイスコアが更新されていくゲームだって、友人との些細なトラブルだって...。その毎日が君たちの成長に繋がっている。「人は夏育つ」これを体現した404人の夏だったのだろう...。そんな夏、オリンピックに負けないくらい成長を遂げてくれた生徒がたくさんいた。それは社会から心配されている部活動での挑戦だ。酷暑の中、日々練習に参加し勝敗以上の経験を重ねた君たちは、間違いなく身体と心の成長を遂げてくれた。運動部の勝ち負けだって、文化部(吹奏楽部、美術部、科学部も...)の結実を目指す姿勢だって...、すべては金メダル級に価値あるものだと思う。是非とも実りの秋につなげてほしい。そして何と言っても県大会、関東大会、全国大会と異次元の経験をした生徒の成長は西中の誇りそのものだ! 陸上、男テニ、卓球、水泳(個人エントリー)、そして男バレ...。君たちの努力は君たち自身の今後の人生の糧となりつつも、西中を盛り上げる起爆剤となったことは間違いがない。本当に心から感謝する「ありがとうございました...」。

グラグラした夏が終わる(まだ残暑は厳しいけれど...)。この夏の404人の経験が、この秋、どんな形で実を結んでくれるのか、2学期の毎日が本当に楽しみだ。

池江選手は上記コメントの締めくくりにご残した...「また4年後、リベンジに戻ってきたい...」。何という強さだ! 西中生よ、自分の想いでかまわない。内に秘めた闘志や想いが伝わる2学期にしてほしい...。真剣と本気と感動があふれる君たちの笑顔に期待する。(西中校長 堀川博基)

### 西中2024夏...私たちの青春そのものだ!

#### 西中学校部活動戦績一覧

埼玉(熊谷、所沢)、関東(甲府、栃木)、全国(福井、金沢)

オリンピック負けない西中生の数々の活躍...。その軌跡は勝敗にこだわらず誇れるものだ。ここで、その結果について示す。選手諸君、胸を張って自信を持って! 応援者、この仲間を心から誇りに思え!

#### 学校総合体育大会(埼玉県大会、関東大会、全国大会)

男子ソフトテニス部 ○○・○○組 2:3 長瀬・長瀬中

陸上競技部 3000m ○○ ○○ 10分29秒98

円盤投げ ○○ ○○ 21m70

100m(1年) ○○ ○○

卓球部女子ダブルス 元井・大竹組 0:3 深谷・幡羅中

水泳 平泳ぎ ○○ ○○ 100m 3位 全国16位

(県大) 200m 2位 全国18位

自由形 ○○ ○○ 100m 8位 関東18位

200m 3位 関東6位

背泳ぎ ○○ ○○ 100m 5位 関東25位

200m 7位 関東21位

#### 男子バレーボール部

埼玉県大会 優勝 2回戦 2:0 上尾上平 3回戦 2:0 所沢富岡

4回戦 2:0 春日部武里 準決勝 2:0 蓮田黒浜 決勝 2:0 草加青柳

関東大会 5位(全国出場) 1回戦 2:0 千葉・市川七

2回戦 2:0 神奈川・川崎西中原 準々決勝 0:2 東京・大田大森二

全国大会 予選グループ戦 2:0 静岡・修学舎

決勝トーナメント1回戦 1:2 岡山・PROGRESS 倉敷

吹奏楽部 埼玉県吹奏楽コンクール西部地区予選会

「金」と「同」じ価値のある「銅賞」でした(会場/所沢 MUSE)

